

松戸市緑推進委員会
第6期委員会の答申と活動報告



平成24年7月
松戸市緑推進委員会

松戸市緑推進委員会「第6期委員会の答申と活動報告」

目次

| | |
|---|----------|
| 1. 21世紀の森と広場の魅力アッププランづくり及び街区公園 の再整備についての答申 | …………… 1 |
| 2. 緑推進委員会の活動 | …………… 9 |
| 2.1 緑推進委員会の活動 | …………… 9 |
| 2.1.1 緑推進委員会及び小委員会の開催 | …………… 9 |
| 2.1.2 委員会活動に係わる広報ほか | …………… 9 |
| 2.9 みどりの行動会議 | …………… 9 |
| 2.10 第1回オープンフォレスト in 松戸の後援 | …………… 9 |
| 2.2 その他の関連する活動 | …………… 10 |
| 2.2.1 里やまボランティア入門講座 | …………… 10 |
| 2.2.2 松戸花壇づくりネットワークの活動 | …………… 10 |
| 3. 参考資料 | …………… 11 |

1. 21世紀の森と広場の魅力アッププランづくり及び

街区公園の再整備についての答申

答 申 書

平成 24 年 6 月 21 日

松戸市緑推進委員会

平成24年6月21日

松戸市長 本郷谷 健次 様

第6期松戸市緑推進委員会
会長 田代 順 孝



21世紀の森と広場の魅力アッププランづくり及び街区公園の再整備について（答申）

松戸市緑推進委員会は、平成22年10月6日付けで松戸市緑の条例第21条第1項の規定に基づき諮問を受けた「1 21世紀の森と広場の魅力アッププランづくりについて」及び「2 街区公園の整備について」に係る、現状を踏まえた今後のあり方について、慎重かつ精力的に検討を重ねて参りました。

このたび、下記のとおり委員会の総意として、答申書を取りまとめましたので、ここに提出します。

記

諮問内容

- 1 21世紀の森と広場の魅力アッププランづくりについて
 - ・21世紀の森と広場の魅力を引き出し来園者数の増大を図るため、各施設のあり方や運営形態の見直し等について検討する。
- 2 街区公園の整備について
 - ・地域コミュニティーの拠点として、街区公園の利用実態や市民ニーズ等を把握し、再整備の基本構想を検討する。

答申内容

- 1 21世紀の森と広場の魅力アッププランづくりについて（別紙のとおり）
 - (1) 魅力アップのための7項目の戦略的方針
 - ① 都市環境保全の観点からも、生物多様性の恵みを感じることができる公園づくり
 - ② みどりの市民力による公園づくり
 - ③ 経営的観点を取り入れ、多様なニーズに応えていく施策の導入と展開
 - ④ 魅力を伝える情報システムの構築
 - ⑤ アートやカルチャーを創造する公園づくり
 - ⑥ 安全・安心で利用しやすい公園づくり
 - ⑦ アクセスの向上
 - (2) 効率的施策展開のために
 - ① パークセンターの機能強化
 - ② (財)松戸みどりと花の基金の活動強化と財源確保
 - ③ 公園施設の魅力を創造するための再整備の検討
 - ④ 多様な人的資源の発掘と活用、連携を深める
 - ⑤ 運営管理にかかわる資金・資源の外部からの調達
- 2 街区公園の整備について（別紙のとおり）
 - (1) 地域公園整備事業の創設とその実現

以上

答申 1 21 世紀の森と広場の魅力アップのためのプランづくりについて
～「成長する公園」へ向けた行動戦略～

本委員会は表記諮問に対して、平成 22 年 10 月から、9 回の委員会と 5 回の小委員会を開催し議論を重ね以下のような結論に達したのでここに答申します。

1 答申の背景

- (1)平成 5 年（1993 年）の開園から 19 年が経過した今日、生物多様性、少子高齢化、ニーズの多様化、防災への関心の高まり、公共施設の社会的経費負担のありようなど公園を取り巻く社会情勢は大きく変化している。これら社会情勢の変化も踏まえ、今後の都市生活をより豊かにする施策のひとつとして「21 世紀の森と広場」の魅力アップを構想し、パークマネジメントの導入も視野に入れた戦略的方法について幅広く検討することが求められる。
- (2)開園以来、来園者数は年間約 60 万人前後で推移しており、市民の間に緑の拠点として定着している。その理由は、この公園が持つ豊かな自然の価値と、市域中央に位置する大規模な公園という立地による魅力とみなせる。今後はこれを尊重しながら、さらに質の高いパークサービスの提供が必要とされる。同時にそれは「松戸市に住んでよかった、住み続けたい」と思える豊かなライフスタイルの実現に貢献するものであることが要請される。
- (3)同公園は、松戸市にとっての重要な緑地資産であるばかりではなく、近隣諸市にとってもレクリエーションをはじめさまざまな利用機会を提供する場所として魅力ある都市的空間であると思われる。そのポテンシャルを最大限に活用し、近隣諸市からの利用者の増大を図ることも、都市経営の観点から大きな課題となっている。

2 討議の経過

委員会においては、まずこの公園の建設時に定められた「千駄堀の自然を守り育てる」という前提の中での、当時の整備目標を再確認する作業から始めた。

当時の整備目標に対し、これまでに挙げてきた成果に関する議論を皮切りに、現代的なニーズへの対応の適否や、これからすべきことについて検討を重ねた。

さらに、委員会内での議論が主に以下の項目について活発に展開された。

- ・自然の豊かさの保全と活用
- ・利用しやすさ
- ・施設水準
- ・利用規制
- ・交通アクセスの改善
- ・管理運営における市民との協働
- ・博物館、森のホール 21 との連携
- ・広域避難地としての防災機能
- ・広域的利用に対する P R

こうした議論の経緯を踏まえ、最終的には「貴重な自然環境を基盤とする都市公園」という 21 世紀の森と広場の特質をより進化させていくこと、そして「満足度の高い利用サービ

スを提供する」ための戦略的な施策による、新たな魅力づくりが求められるという共通認識にいたった。

豊かなライフスタイルの実現に寄与し、自然を大切にしつつ、来るべきサステナブルな社会と環境の創造に貢献する公園を今後の基本的な公園像とし、その管理運営方法の再構築と、施設の再整備等による魅力アップに努める。そのための戦略の方針として7つの柱を設定した。

3 答申本文

(1) 魅力アップのための7項目の戦略の方針

①都市環境保全の観点からも、生物多様性の恵みを感じることができる公園づくり

多様な生物が息づく公園緑地は、都市環境を良好に保つさまざまな調整機能を持つ。その重要性は今日、世界的な共通認識である。とりわけ50haもの規模を持つ21世紀の森と広場の「市街地に浮かぶ豊かな自然の島」としての存在意義は大きい。その自然に触れる楽しみにとどまらず、生物多様性保全の重要性を喚起し、自然と人のネットワークをつくりだす拠点としていくことを今後の施策の根幹にすえる。

(施策案)

- ・自然資源を活用した自然体験プログラムの作成と展開
- ・継続的なモニタリングによる生物多様性の評価システムの構築
- ・自然のネットワーク（グリーンインフラ）の拠点としての位置づけ

②みどりの市民力による公園づくり

松戸市緑の基本計画で提案している「みどりの市民力」を最大限に活用する仕組みを構築する。そのため行政・市民・利用者が共有できる参加の体制を整える。

(施策案)

- ・公園ガイドやパークコーディネーター等の人材養成と活用
- ・公園施設の多様な管理運営に対する市民・企業など民間活力の導入
- ・パークセンターの効果的な運営システムの構築及び市民参加方式の検討

③経営的観点を取り入れ、多様なニーズに応えていく施策の導入と展開

都市公園に対するニーズは多様化、高度化している。それらに応えていくことと併せ、今後の公園運営には経営的観点を取り入れていくことが求められる。

とくに将来を担う子供たちの利用を高める施策を重点的に展開するとともに、新たなニーズを掘り起こしていく方策として、周辺市街地との連携も強化する。

(施策案)

- ・自然に配慮し、バリアフリーにも対応したレクリエーション施設の設置
- ・四季を通じた自然鑑賞施設等の整備や既存樹林の利用促進
- ・一部規制緩和によるエリア限定、人員配置等を施した利用プログラムの作成やルールづくり
- ・新たなイベントの実施や、地域ぐるみで新たなニーズの掘り起しを進める体制とプロジェクトの推進
- ・環境配慮型（エコ対応）施設への再整備

- ・市民・農家参加型の農的環境・自然環境体験型施設の設置と運営
- ・夜間利用の検討

④魅力を伝える情報システムの構築

SNS(ソーシャルネットワークサービス)などのITツールによる情報提供は、市民や利用者の利便を図る上で今や必須といえる。独自あるいは市民、企業との連携も視野に入れた情報メディアを構築することにより、新たな利用者の発掘を行い、市の内外からの継続的利用者の増加を図る。

(施策案)

- ・多様な情報提供ツールの活用
- ・参加型HPの設計と効率的運営
- ・ITメディアを活用した新たなイベントづくりや情報提供プログラム構築と実施

⑤アートやカルチャーを創造する公園づくり

公園に文化的魅力を創造するために、既存の施設の活用や新たなプログラムの開発を行い、アーティストや文化関係者が積極的にかかわる舞台を用意する。自然に加えて、文化活動の拠点形成を目指す。

(施策案)

- ・博物館や森のホール21との連携強化
- ・森の野外彫刻展や水辺の音楽会の開催など、市民の芸術や文化活動の場としての有効活用
- ・アート展やコスプレなどクリエイティブな活動の場の提供

⑥安全・安心で利用しやすい公園づくり

利用者の安全確保をこれまでの安全点検や行政の一方的な規制だけに頼らず、利用促進の視点を加味した新たなルールやプログラムの開発を通じて、安全確保と利用促進を共存させる。また、災害など非常時において、大規模公園が担うべき役割を明らかにし、防災機能の強化を行う。

これら日常時から非日常時まで連続した安全対策によって、市民がより安心を実感できる公園としていく。

(施策案)

- ・日常的利用における公園施設の安全対策の強化
- ・災害時への対応としての防災機能の強化(防災施設の優先的設置)

⑦アクセスの向上

新駅設置の検討も含み、新たな交通機関の確保、既存公共交通システムとの連携強化活用を通じて、アクセスの向上を図ることが必要である。また、周辺緑地、周辺居住地との連携などを進め、広域的な回遊性を創出することも、アクセスの向上では必要な視点であり、このことは公園が生み出す経済効果を高めることにもつながる。

(施策案)

- ・シャトルバスの運行等公共交通機関との連携
- ・公園までのルート整備や沿道環境整備を図り、広域的な回遊性の創出をおこなう

- ・円滑で効果的なパーキングシステムの構築

(2) 魅力アップ方針に基づいた具体的施策の展開

以上の7項目を魅力アップの戦略的方針とする。この方針に沿って、具体の施策を展開する仕組みと場を早急に用意すること。そのために市民参加型のパークマネジメントの体制を構築し、経営的視点を加えて、幅広く検討すべきである。また、その体制は必要に応じて見直し、改善していくことが望まれる。

4 効率的施策展開のために

上記の戦略的方針に基づき、下記の項目を優先的な課題として具体のアクション計画を立て、速やかに実行する。

- (1) パークセンターの機能強化
- (2) (財)松戸みどりと花の基金の活動強化と財源確保
- (3) 公園施設の魅力を創造するための再整備の検討
- (4) 多様な人的資源の発掘と活用、連携を深める
- (5) 運営管理にかかわる資金・資源の外部からの調達

5 終わりに

本答申は、今後50年、100年と存続していくであろうこの公園の、今日一時期についてマネジメントの方向性を示したものである。時代により自然に対する要求は変わっていくが、21世紀の森と広場は自然との共生を基礎としながらも、時代の声に耳を傾け「進化し続ける公園」であってほしい。本答申を契機として、市の熱意ある取り組みによって、魅力アップが同公園の品位を上げ、来園者の増加をもたらすとともに、松戸市の都市ブランドの向上に貢献することを願うものである。

答申 2 街区公園の整備について

1 答申の背景

- (1) 松戸市の公園は、その多くが 30 年以上前に整備された公園であり、施設の老朽化や不足等、市民のニーズにできていない。
- (2) 公園へのニーズが多様化している現在においては、より多くの機能（健康増進、地域防災機能 等）を有する公園への再整備が求められている。
- (3) 東日本大震災の経験により、公園における防災機能の充実が求められている。

2 討議の経過

第 6 期松戸市緑推進委員会においては、他に「21 世紀の森と広場の魅力アッププランづくり」という大きなテーマもあったことから、「街区公園の整備について」は、必ずしも十分な議論ができたとは言えない。

街区公園の再整備計画を策定するには、地域ごとの特性を把握するなど、多くの知見の蓄積が必要となるので、松戸市内の街区公園の再整備を行うために、まずは「松戸市緑の基本計画」にうたわれている、11 地域に分けた地域の核となる“地域公園”を対象とし、アクションプランとして市民参加型の地域別ワークショップを開催し、知見を蓄積していくことが必要である。

こうした考えの中、答申内容を以下のとおりとした。

3 答申本文

街区公園や近隣公園は、地域住民に親しまれている最も身近な住区基幹公園である。諮問の背景を踏まえれば尚のこと、この度の答申の重要性を認識するところであり、地域公園整備事業の創設とその実現に向け、松戸市緑推進委員会と連携を深めて、具体的な検討を早急に進めて行くべきである。

4 終わりに

十分な答申内容とはならなかったが、新たに整備する地域公園は「松戸市緑の基本計画」にもあるとおり、地域のレクリエーションや防災の拠点として整備していく必要があり、つくる段階からの地域住民の参加が不可欠であり、整備後の公園は「みどりの市民力」が大いに発揮される舞台として生まれ変わることが求められる。

幸い平成 24 年度は、「地域公園整備事業におけるガイドライン策定委託」が予算化されていることを伺っており、そのことも合わせ、今後も継続的に検討を進めて行くことが必要であると考えている。

2. 緑推進委員会の活動

2.1 緑推進委員会の活動

2.1.1 緑推進委員会及び小委員会の開催

平成22年7月から平成24年6月までの2年間の任期中、9回の委員会を開催。今回の委員会では、主に答申の作成に向けての検討を重ねた。

また、答申を検討するため、諮問検討・答申書作成小委員会を設置し、会議を実施した。

2.1.2 委員会に係わる広報ほか

「緑と花のフェスティバル」（平成24年4月29日開催）や再発見ツアーの後の振り返りなど様々な機会を活用して、以下に列記する委員会活動の広報等に努めた。

- ①委員会の目的、役割、活動実績ならびに松戸市のみどりの現況や保全の取組み等をパネル展示などで紹介した。
- ②第2期委員会の提言により、平成16年10月に制定された「松戸みどりの市民憲章」の広報と普及を行った。緑と花のフェスティバルのステージにて、千葉大学生や留学生による発表も行った。
- ③松戸のみどり再発見ツアーの後援を行った。
- ④第2期委員会の樹林地保全部会による取組みから生まれ、毎年継続して開催されている入門講座及び松戸市における「里やまボランティア活動」の広報に努めた。

2.1.3 みどりの行動会議

みどりの行動会議は、松戸みどりの市民憲章の制定を機に、その普及・啓発と憲章の精神を反映した具体的な行動を推進するために設立された。

過去には、「木に名札を付けよう」（2005～2006年度）、「みどりのマップを作成しよう」（2007～2008年度）などを実施している。

今期は、2009年度より実施している「みどりを訪ねて歩いてみよう～松戸のみどり再発見～」に引き続き取り組んだ。これまでに、17回のツアーを実施し、830人近くの方に参加いただいている。

2.1.4 第1回オープンフォレスト in 松戸の後援

普段入ることの出来ない私有樹林地（一部公園等含む）を、所有者の協力を得て公開する「第1回オープンフォレスト in 松戸」の後援を行った。オープンフォレスト in

松戸実行委員会と松戸市の共催で、市民ボランティアが活動する樹林地が一般公開された。各団体の活動をより多くの市民に伝えること、身近な緑の大切さに目を向け、減少し続ける都市樹林の保全を市民と一緒に考える機会となることを願って準備されたイベントは、「みどりの市民力」の成果のひとつと言える。

平成24年5月12日～5月20日の期間中、森の公開、森めぐりツアー、森の文化祭の各イベントあわせ、2,435人の来場者があった。

2.2 その他の関連する活動

2.2.1 里やまボランティア入門講座

第2期委員会樹林地部会の発案により、平成14年に第1期を開講して以来、平成23年で9期目となる。毎年講座の修了生は、自主的に樹林地保全活動団体を設立して、樹林地での活動を入っているが、平成22年度の8期修了者は「松戸里やま応援団 八輝の会」、平成23年度の9期修了者は「松戸里やま応援団 里やまQ」を結成した。

松戸市における活動の特色には以下のようなものが挙げられる。

- ・ 講座プログラムがオリジナルであり、市民、行政、中間組織の3者協働で開講されている
- ・ 講座修了生が、自主的に団体を組織して活動に入っている
- ・ 修了者による団体が「松戸里やま応援団」としてネットワークを結成し、互助のコミュニティを結成している
- ・ 人員のスキルアップ（管理・安全・生態・制度など）を図るための「ステップアップ講座」が里やま応援団を主体として開講されている
- ・ 活動場所が公有地ではなく、民有の樹林地である（一部公園を含む）
- ・ 講座修了生が、新たな緑の担い手育成の主体として携わっている

2.2.2 松戸花壇づくりネットワークの活動

松戸花壇づくりネットワークは、第2期委員会の「パートナーシップによる緑の育成管理方策検討部会」の活動をきっかけとして、平成17年に発足した。花壇作り団体の情報交換や人的交流の拡大を図ることを目的としているが、緑と花のフェスティバルなどの参加を通して、本委員会と密接な協力関係を築いている。

平成19年から22年までの東松戸ゆいの花公園における活動、22年には、ちば国体にむけた「おもてなしの花」育成活動を行い、23年度からは、金ヶ作育苗圃を拠点に種からの花苗づくりに取組んでいる。ここで得られた技術が地域の花づくりに還元されている。

3. 参考資料

参考資料目次

| | | |
|--------|--|----------|
| 資料 1 | 「第 6 期松戸市緑推進委員会委員名簿」 | 1 |
| 資料 2 | 「第 6 期松戸市緑推進委員会の開催概要」 | 2 |
| 資料 3 | 「第 6 期松戸市緑推進委員会の開催実績」 「諮問検討・答申書作成小委員会委員名簿」 「諮問検討・答申書作成小委員会の開催実績」 | 3 |
| 資料 4 | 「みどりの行動会議委員名簿」 | 4 |
| 資料 5 | 「みどりの行動会議開催概要」 | 5 |
| 資料 6 | 「松戸のみどり再発見ツアー開催一覧」 | 6 |
| 資料 7 | 「第 1 回オープンフォレスト in 松戸」チラシ | 7 |
| 資料 8 | 「第 1 回オープンフォレスト in 松戸」報告書 | 9 |
| 資料 9 | 「里やまボランティア入門講座 2010」チラシ 「里やまボランティア入門講座 2011」チラシ | 15 16 |
| 資料 1 0 | 「花壇づくりネットワーク」写真 | 17 |

●第6期松戸市緑推進委員会委員名簿

資料1

| 〈役職〉 | 〈氏名〉 | 〈所属等〉 |
|------|--------|---------------------------------|
| 会長 | 田代 順孝 | 千葉大学名誉教授 |
| 会長代理 | 柳井 重人 | 千葉大学大学院園芸学研究科准教授 |
| 委員 | 平岡 考 | (財)山階鳥類研究所事務局広報主任兼 自然誌研究室専門員 |
| 委員 | 末満 宗治 | 松戸史談会相談役 |
| 委員 | 高橋 清 | 河南環境美化の会会長 |
| 委員 | 高橋 盛男 | 緑のネットワーク・まつど副代表 |
| 委員 | 真嶋 好博 | (社)日本樹木医会千葉県支部事務局長 |
| 委員 | 中村 一栄 | 松戸市市民農園連絡協議会 |
| 委員 | 吉野 寅二郎 | 松戸ふるさと森の会会長 |
| 委員 | 川上 和子 | 市民 |
| 委員 | 山下 正徳 | 市民 |
| 委員 | 山森 通男 | 市民 |
| 委員 | 渡辺 武久 | 市民 |
| 委員 | 石井 芳次 | 市民 |
| 委員 | 角田 安弘 | 市民 |

資料 2

第 6 期委員会の開催概要表

第 6 期松戸市緑推進委員会の開催概要

| 〈 委員名称 〉 | 〈 開催日 〉 | 〈 議題 〉 |
|----------|-------------------|--|
| 委 嘱 式 | 平成 22 年 7 月 9 日 | |
| 第 1 回委員会 | 平成 22 年 10 月 6 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・新委員会勉強会の報告 ・第 6 期松戸市緑推進委員会への諮問について ・第 6 期松戸市緑推進委員会での検討すべき項目について ・みどりの行動会議からの報告 ・「オープンフォレスト in 松戸」への後援について |
| 第 2 回委員会 | 平成 22 年 11 月 24 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・第 6 期松戸市緑推進委員会への諮問について ・第 6 期松戸市緑推進委員会での検討すべき項目について ・「オープンフォレスト in 松戸」からの報告 |
| 第 3 回委員会 | 平成 23 年 2 月 7 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・第 6 期松戸市緑推進委員会への諮問について (21 世紀の森と広場の魅力アッププランづくり) ・みどりの行動会議からの報告 ・「オープンフォレスト in 松戸」からの報告 |
| 第 4 回委員会 | 平成 23 年 5 月 23 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・第 6 期松戸市緑推進委員会への諮問について (21 世紀の森と広場の魅力アッププランづくり) ・緑と花のフェスティバルについて ・「オープンフォレスト in 松戸」からの報告 |
| 第 5 回委員会 | 平成 23 年 10 月 5 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・第 6 期松戸市緑推進委員会への諮問について (21 世紀の森と広場の魅力アッププランづくり) ・みどりの行動会議からの報告 ・「オープンフォレスト in 松戸」からの報告 |
| 第 6 回委員会 | 平成 23 年 11 月 21 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・第 6 期松戸市緑推進委員会への諮問について ・緑と花のフェスティバルについて ・「オープンフォレスト in 松戸」からの報告 |
| 第 7 回委員会 | 平成 24 年 2 月 16 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・第 6 期松戸市緑推進委員会への諮問について ・第 6 期委員会の活動報告と提言について ・緑と花のフェスティバル 2012 への参加について ・「オープンフォレスト in 松戸」からの報告 |
| 第 8 回委員会 | 平成 24 年 5 月 21 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・第 6 期松戸市緑推進委員会への諮問について ・緑と花のフェスティバル 2012 への参加について ・「オープンフォレスト in 松戸」からの報告 |
| 第 9 回委員会 | 平成 24 年 6 月 21 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・第 6 期松戸市緑推進委員会への諮問について 諮問内容の確認 |

●第6期松戸市緑推進委員会の開催実績

| 〈委員会名称〉 | 〈開催日〉 |
|---------|-------------|
| 委嘱式 | 平成22年7月9日 |
| 第1回委員会 | 平成22年10月6日 |
| 第2回委員会 | 平成22年11月24日 |
| 第3回委員会 | 平成23年2月7日 |
| 第4回委員会 | 平成23年5月23日 |
| 第5回委員会 | 平成23年10月5日 |
| 第6回委員会 | 平成23年11月21日 |
| 第7回委員会 | 平成24年2月16日 |
| 第8回委員会 | 平成24年5月21日 |
| 第9回委員会 | 平成24年6月21日 |

●第6期松戸市緑推進委員会「諮問検討・答申書作成小委員会」委員名簿

| 〈役職〉 | 〈氏名〉 | 〈所属等〉 |
|------|-------|---------------------------------|
| 座長 | 田代 順孝 | 千葉大学名誉教授 |
| 委員 | 柳井 重人 | 千葉大学大学院園芸学研究科准教授 |
| 委員 | 平岡 考 | (財)山階鳥類研究所事務局広報主任 兼自然誌研究室専門員 |
| 委員 | 高橋 盛男 | 緑のネットワーク・まつど副代表 |
| 委員 | 真嶋 好博 | (社)日本樹木医会千葉県支部事務局長 |

●第6期松戸市緑推進委員会「諮問検討・答申書作成小委員会」の開催実績

| 〈委員会名称〉 | 〈開催日〉 |
|---------|-------------|
| 第1回小委員会 | 平成23年11月7日 |
| 第2回小委員会 | 平成23年12月27日 |
| 第3回小委員会 | 平成24年1月10日 |
| 第4回小委員会 | 平成24年2月8日 |
| 第5回小委員会 | 平成24年6月12日 |

資料 4

みどりの行動会議の構成表

みどりの行動会議委員名簿

| ＜役 職＞ | ＜氏 名＞ | ＜所 属 等＞ |
|-------|--------|-------------------------|
| 座 長 | 柳井 重人 | 緑推進委員 |
| 委 員 | 田代 順孝 | 緑推進委員 |
| 委 員 | 高橋 清 | 緑推進委員 |
| 委 員 | 高橋 盛男 | 緑推進委員 |
| 委 員 | 真嶋 好博 | 緑推進委員 |
| 委 員 | 吉野 寅二郎 | 緑推進委員 |
| 委 員 | 川上 和子 | 緑推進委員 |
| 委 員 | 山下 正徳 | 緑推進委員 |
| 委 員 | 中村 一栄 | 緑推進委員 |
| 委 員 | 野坂 みよ | 緑推進委員OB |
| 委 員 | 中島 敏夫 | 緑推進委員OB |
| 委 員 | 三嶋 秀恒 | 緑推進委員OB |
| 委 員 | 糸川 孝 | 緑推進委員OB |
| 委 員 | 竹林 清 | 緑推進委員OB |
| 委 員 | 流尾 哲也 | 緑推進委員OB |
| 委 員 | 高木喜久雄 | 緑推進委員OB |
| 委 員 | 渋谷 孝子 | 緑推進委員OG 緑のネットワーク・まつど |
| 委 員 | 田中 玉枝 | 緑のネットワーク・まつど |
| 委 員 | 武笠 紀子 | 緑推進委員OG 緑のネットワーク・まつど |
| 委 員 | 北山 繁 | 松戸里やま応援団 |
| 委 員 | 山口 熙 | 松戸里やま応援団 |
| 委 員 | 田中 誠喜 | 松戸里やま応援団 |
| 委 員 | 野口 功 | 松戸里やま応援団(二期) |

みどりの行動会議開催概要

| | 〈 開催日 〉 | 〈 議 題 〉 |
|------|-------------|--|
| 第34回 | 平成22年 6月30日 | ・再発見ツアーの打合せ |
| 第35回 | 平成22年 9月 4日 | ・再発見ツアーの報告 ・再発見ツアーの打合せ ・再発見ツアー成果の取りまとめについて |
| 第36回 | 平成22年10月 6日 | ・再発見ツアー成果の取りまとめについて |
| 第37回 | 平成22年11月26日 | ・再発見ツアーの打合せ ・再発見ツアー成果の取りまとめについて |
| 第38回 | 平成23年 1月26日 | ・再発見ツアー成果の取りまとめ方法について検討 |
| 第39回 | 平成23年 2月24日 | ・緑と花のフェスティバル2011について |
| 第40回 | 平成23年 7月 6日 | ・再発見ツアー成果の取りまとめ |
| 第41回 | 平成23年 7月28日 | ・再発見ツアー成果の取りまとめ |
| 第42回 | 平成23年10月14日 | ・再発見ツアー成果の取りまとめ |
| 第43回 | 平成24年 2月20日 | ・緑と花のフェスティバル2012について |
| 第44回 | 平成24年 4月11日 | ・緑と花のフェスティバル2012について |

資料6

松戸のみどり再発見ツアー開催一覧

| 回数 | 開催日 | 開催場所 | スローガン | 主催 | 参加者数 |
|----|---------------|---------|----------------------------|------------------------|------|
| 1 | 21.11.29(日) | 千駄堀 | 知られざる千駄堀の魅力を発見する | みどりの行動会議・松戸市共催 | 51名 |
| 2 | 22.02.14(日) | 千駄堀 | 千駄堀＊森の自然観察&クリーンアップ | みどりのネットワーク・まつど | 34名 |
| 3 | 22.04.06(火) | 常盤平 | 昭和のガーデンシティと松戸の里山を訪ねる | みどりの行動会議 | 47名 |
| | 22.04.13(火) | 金ヶ作 | | 松戸市共催 | 31名 |
| 4 | 22.04.29(木) | 千駄堀 | 21世紀の森と広場おもしろ話 | みどりの行動会議・松戸市共催 | 76名 |
| 5 | 22.05.09(日) | 高塚～秋山 | 高塚～秋山新緑の森を巡る | みどりのネットワーク・まつど | 69名 |
| 6 | 22.07.11(日) | 八ヶ崎・幸谷 | 八ヶ崎から幸谷へ緑の回廊を歩く | みどりのネットワーク・まつど | 58名 |
| 7 | 22.09.26(日) | 紙敷 | かやぶき屋根の齋藤邸と紙敷さんぽ | みどりの行動会議・松戸市共催 | 37名 |
| 8 | 22.11.05(金) | 松戸 | 巨樹・古木めぐり | 松戸市 | 30名 |
| 9 | 22.11.28(日) | 日暮・田中新田 | 八柱霊園の紅葉とゆいの花公園の緑を訪ねる | みどりのネットワーク・まつど | 47名 |
| 10 | 22.12. 5(日) | 千駄堀 | 21世紀の森と広場おもしろ話パートⅡ | みどりの行動会議・松戸市 | 33名 |
| 11 | 23. 2.13(日) | 本土寺・大谷口 | 「歴史薫るみどり・本土寺周辺～大谷口歴史公園を歩く」 | 緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市 | 59名 |
| 12 | 23. 4. 9(土) | 金ヶ作、常盤平 | 松戸の里山風景から昭和のガーデンシティへ | 緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市 | 中止 |
| 13 | 23. 7. 10(日) | 北松戸・上本郷 | 「北松戸から上本郷のみどりと湧水をめぐる」 | 緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市 | 40名 |
| 14 | 23. 9.25(日) | 常盤平、金ヶ作 | ヒガンバナ咲く里やま風景から昭和のガーデンシティへ | 緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市 | 71名 |
| 15 | 23. 11. 9(水) | 松戸 | 巨樹・古木めぐり(戸定から千葉大へ) | 松戸市 | 25名 |
| 16 | 23. 12. 11(日) | 常盤平、千駄堀 | 常盤平～千駄堀・初冬の森を巡る | 緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市 | 71名 |
| 17 | 24. 3. 11(日) | 栗山・矢切 | 松戸の宝・矢切の斜面林をめぐる | 緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市 | 50名 |
| | | | | 合計 | 829名 |

※第6期緑推進委員会期間中には、6回～17回を開催

■森めぐりツアーのご案内 (参加費無料、申し込み不要、徒歩でご案内、雨天中止)

| コース名 | 日時 | 集合場所 |
|--|---------------|---------------------|
| ご案内 | | |
| ①ハケ崎・金ケ作コース | 5/12(土) 13時 | 21世紀の森と広場パークセンター前集合 |
| 「ハケ崎の森」で樹体体験と「ホダシの森」、「囲いやまの森」をめぐります | | |
| ②千駄堀コース | 5/12(土) 13時 | 21世紀の森と広場パークセンター前集合 |
| 長屋門、寺社、里やま風景を散策し「新山の森」「芋の作の森」をめぐります | | |
| ③常盤平・五香コース | 5/13(日) 10時 | 新京成常盤平駅改札口前集合 |
| 里やまボランティアが楽しく活動する「三吉の森」「立切の森」があなたを待っている! | | |
| ④幸谷コース | 5/15(火) 10時 | JR新松戸駅改札口前集合 |
| 幸谷観音から「関さんの森」「溜ノ上の森」へ・・・新緑の中、自然散策を楽しみます | | |
| ⑤紙敷・河原塚コース | 5/16(水) 9時30分 | JR東松戸駅改札口前集合 |
| 茅葺き屋根の演説部からボランティアが活動する「河原塚の古墳の森」「紙敷石みやの森」を訪ねます | | |
| ⑥高塚・秋山コース | 5/20(日) 9時30分 | JR東松戸駅改札口前集合 |
| 里やまボランティアが活躍する高塚新田「小浜屋敷の森」と「秋山の森」の新緑を訪ねます | | |

まつど 松戸みどりの市民憲章

私たちのまわりには、樹木、草花、水、土、空そしてさまざまな生きものから構成される**みどりが存在**しています。私たちは、自身と輝かしい未来を担う子どもたちの幸せのために、これまで**育て、豊かにしていき**ます。そのため、合い、守り育て、豊かにしていきます。そのため、市民・企業・行政の三者が、それぞれの立場において、**みどりの**もたらす恵みに想いを寄せ、**自覚と責任、対話と協働**に基づいて行動します。

1. 松戸市民は**みどり**と暮らす豊かさを大切にします
1. 千年來の**みどりの**声に耳を傾け、百年後の**みどり**を育てます
1. 子どもたちの夢とあそびを受けとめる**みどり**をいっぱいします

緑の森へ.....美しい森の緑は遠くから眺める
ときも、近くを通るにも、心を癒してくれます。私
たちのまち松戸にも、持ち主の思いと、ボランティアの
汗と、行政の協力によって守られている森があります。

森のなかで.....昔殿は入ることのできない森
が多いですが、この機会に多くの市民の皆さまに、
森を訪ね、森の中に入って、森の風、森の光、森の香
りを感じていただけたら.....と考えました。

未来の子供たちに.....都市に壊された重
な森を未来の子供達に引き継ぐために、何ができ
るかを考えるきっかけとなることを願っています。

.....お願 い.....

*森にふさわしい服装でおいでください。
*森は火気厳禁でお願いします。
*森に駐車場、トイレはありません。

第1回 オープンフオレストin松戸 おいでよ! 松戸の森へ

松戸里やま週間

5月12日(土)~5月20日(日)

<森の公開>

森でゆったりした時間を過ごしてみませんか
森で子どもたちと一緒に遊びませんか
里やまボランティアが活動している森を市民に公開
公開する森と公開日は、2面、3面をご覧ください

<森めぐりツアー>

最寄りの駅から森へご案内します
コースと実施日は4面をご覧ください

<森の文化祭>

森の活動や森から生まれた作品をご覧ください
21世紀の森と広場パークセンター2階多目的室
5月12日(土)~5月20日(日) 10時~15時 5月14日(月)は休館

<オープニング式典>

5月12日(土) 10時~11時半 パークセンター2階パークシアター

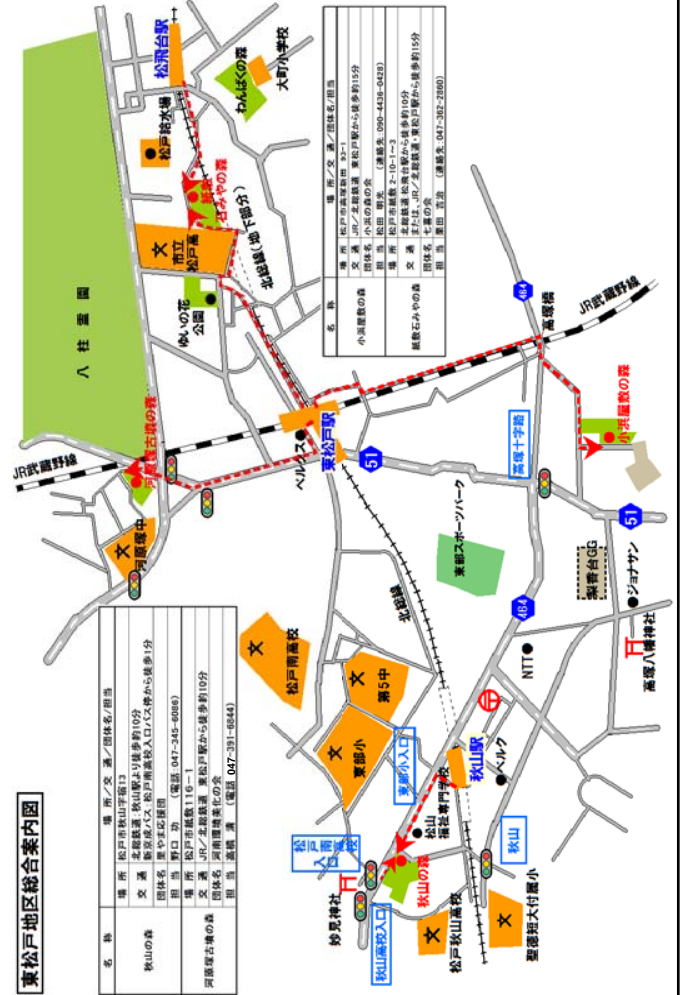
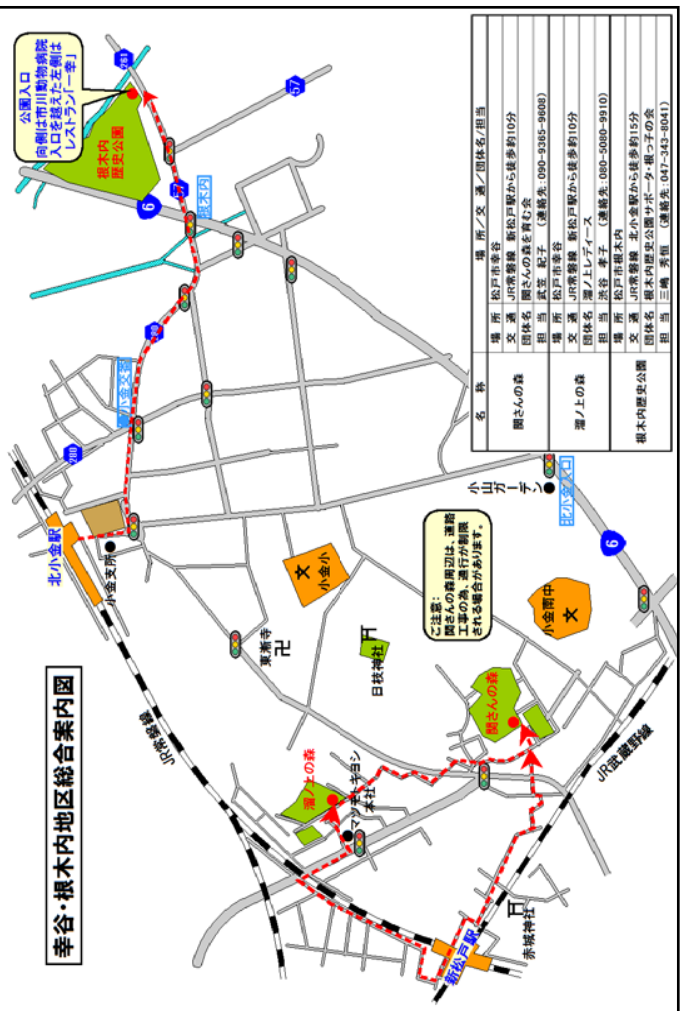
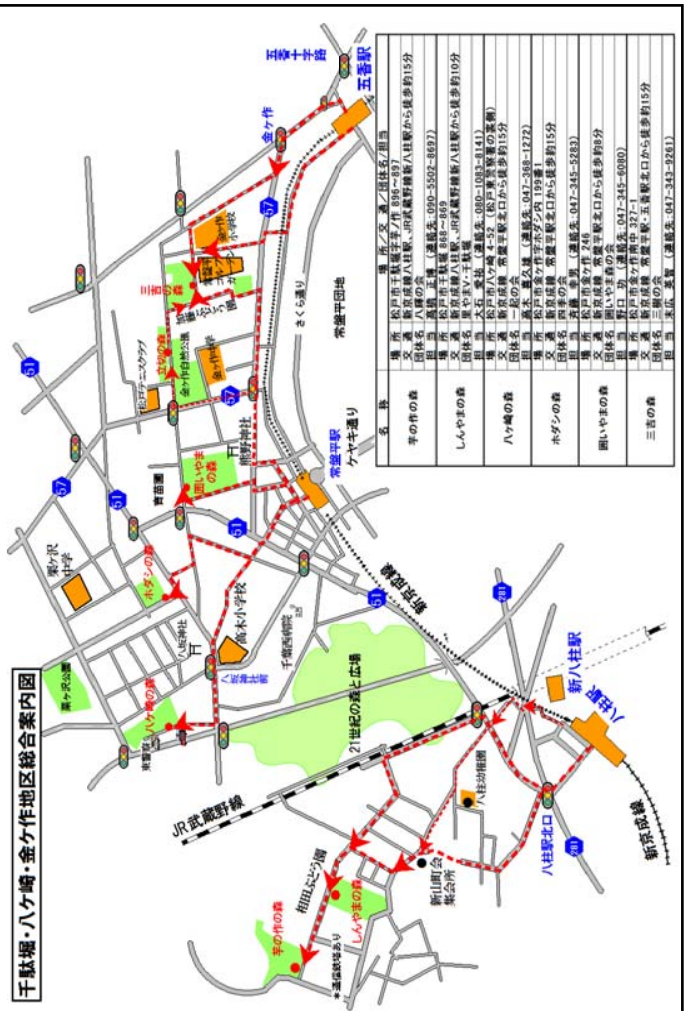


資料7

共催: オープンフオレストin松戸実行委員会、松戸市
後援: 千葉県、(財)都市緑化機構、(財)松戸みどり花の基金、松戸市緑推進委員会、松戸市教育委員会、松戸まちづくり交流センター小
お問い合わせ: 実行委員会事務局 TEL.090-4209-2254 / FAX.047-311-5375 URL: <http://www1.koalinet.ne.jp/forest-in-matsudo/>
松戸市みどり花の森(平日) TEL.047-366-7378

■ 公開する森と公開日

| 名称 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 森で出来ること |
|-----------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| 八ヶ崎の森 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | (○)公開日 ◎公開日で10時~15時案内人がいます |
| 園いやまの森 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 森の中でハンモック、編掛け遊び、花が咲いていければティータイムも希望者には作業体験も |
| 三吉の森 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 15日:希望者による作業体験 |
| 立切の森 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 自然観察、ハンモックで森林浴、13日:タケノコの塩付け体験、竹細工体験、竹炭のお土産(20名)、20日:竹細工体験 |
| 水ダシの森 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 三吉の森で受付後希望者にはご案内 |
| しんやまの森 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 森の中ハンモックで癒しの一時を、素人紙芝居子供と囲んで遊ぼう |
| 幸の作の森 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 森の自然観察 |
| 秋山の森 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 森の中や周辺の森をご案内、樹木解説、樹木に名札付け |
| 小浜園敷の森 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 竹林の散策 |
| 紙敷石みやの森 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 森の自然観察ほか |
| 関さんの森 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 森の自然観察、森の散策、癒し体験ほか |
| 溜ノ上の森 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎は、関さんの自宅の庭、蔵、門や熊野権現をご案内 |
| 河原塚古墳の森 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎は、森のプランク、森の中でお昼寝、輪投げ遊びなど1号古墳のご案内と説明(11時、14時) |
| 根木内歴史公園 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | グラウンドゴルフなど指導員がついて実技講習 |
| 21世紀の森と広場 パークセンター2階 (森の文化祭) | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎は、公園に案内人がいます、13日:写真展と自然観察会 18日:手入れ体験 19日:田植えとお餅つき体験 ボランティア団体などの紹介パネル展示や映像で紹介、森の工作物、森の生き物などの写真を展示 |



第 1 回オープンフォレスト in 松戸 実施報告書

2012 (平成 24) 年 6 月

オープンフォレスト in 松戸実行委員会事務局

1. はじめに

都市に残された貴重な森を未来の子どもたちに引き継ぐ為に、良好な環境として存続させるためには、多くの市民の理解が不可欠、そこで市民のみなさんに森に来ていただき、森を身近に感じて、森を守る意義や課題、活動などを理解していただく機会として実施した。

第1回オープンフォレスト in 松戸は、当時の里やま応援団各会の活動回数の合計が1,000回になるのを記念して何か出来ないかと模索していた。そんな時あるイベントの打上の席でオープンガーデンの森版をやろうと盛り上がった。

2010年6月18日に有志により準備会を開催、各会から委員を募り7月17日に第1回実行委員会を開催し実施日は翌年の新緑の季節5月14日～21日に決定し着々と準備を進めてきたが、3.11の震災の影響により2011年4月8日の第10回実行委員会で開催の1年延期を決定した。

後援団体や関係団体に実施の1年間延期の説明と連絡を行う。

その後7月5日実行委員会を開き再開を確認、行動計画部会、広報部会で開催に向けて準備を行い今年5月12日～20日の日程で第1回オープンフォレスト in 松戸を実施した。

2. 参加団体

1) 実行委員会

- ・ 実行委員長 柳井 重人
- ・ 全副委員長 吉野 寅二郎
- ・ 全副委員長 深野 靖明

2) 参加団体

- ① 河南環境美化の会
- ② 関さんの森を育む会
- ③ 金ヶ作の森を育む会
- ④ ふるさと森の会
- ⑤ 緑のネットワーク・まつど
- ⑥ 松戸里やま応援団 一起の会
- ⑦ 溜ノ上レディース
- ⑧ 松戸里やま応援団 囲い山森の会
- ⑨ 全 三樹の会
- ⑩ 根木内歴史公園サポーター・根っ子の会
- ⑪ 松戸里やま応援団 四季の会
- ⑫ 全 里やまV・千駄堀
- ⑬ 全 小浜の森の会
- ⑭ 全 七喜の会
- ⑮ 全 八輝の会
- ⑯ 松戸里やま応援団

⑰松戸市

- ・みどりと花の課
- ・公園緑地課
- ・21世紀の森と広場管理事務所

3. 後援団体

- 1) 千葉県
- 2) (財)都市緑化機構
- 3) (財)松戸みどりと花の基金
- 4) 松戸市緑推進委員会
- 5) 松戸市教育委員会
- 6) 松戸まちづくり交流室テント小屋
- 7) 北総線沿線地域活性化協議会

4. 実施内容

1) オープニング式典

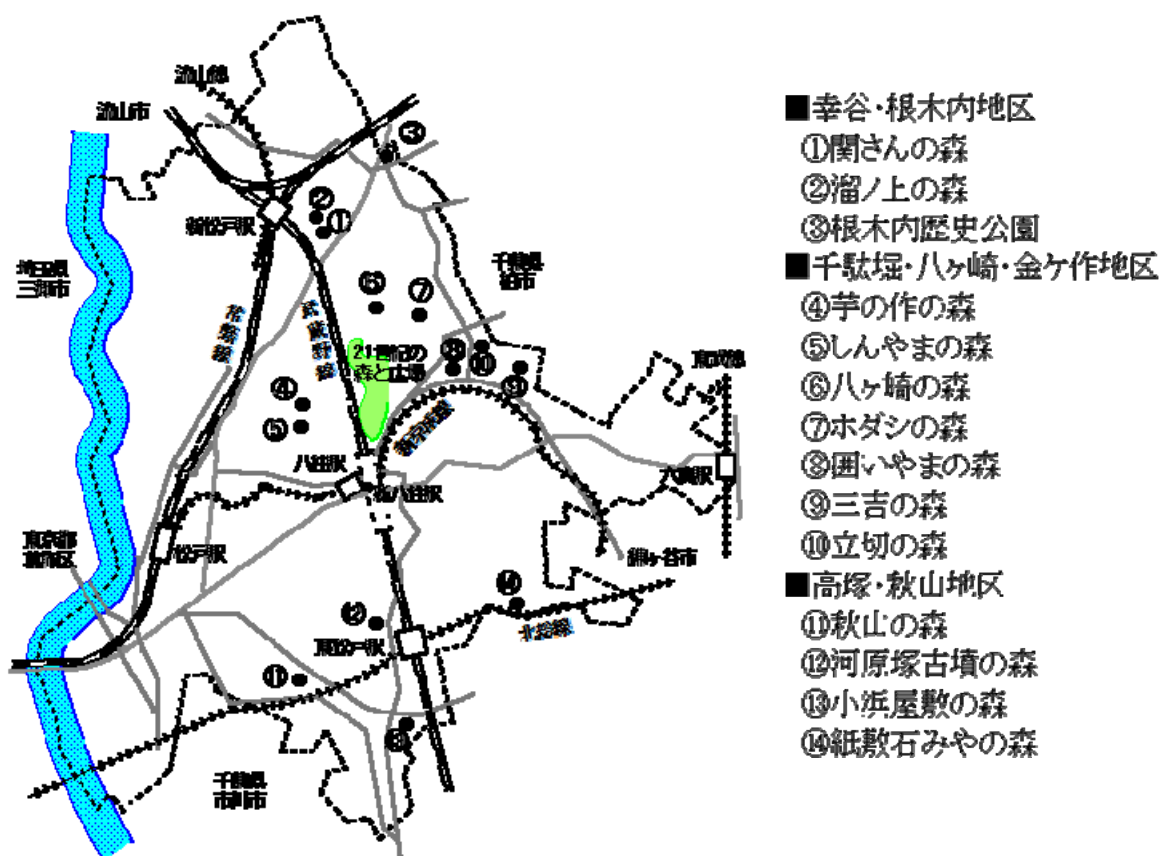
- ・日時：平成24年5月12日（土）10時～11時30分
- ・場所：21世紀の森と広場パークセンター 2階パークシアター
- ・参加人数：78名

・内容：

- | | |
|-------------|-----------------|
| ①開会宣言 | 司会(高橋盛男) |
| ②主催者代表あいさつ | 松戸市長 |
| ③コカリナ演奏 | 松戸コカリナサークル「森の音」 |
| ④主催者代表あいさつ | 実行委員長 |
| ⑤感謝状贈呈 | |
| ⑥後援団体の紹介 | |
| ⑦後援団体代表あいさつ | (財)松戸みどりと花の基金 |
| ⑧里やま活動団体紹介 | |
| ⑨閉会あいさつ | 副実行委員長 |
| ⑩閉会 | |

- ・式典記録 天野 正英

2) 森の公開



3) 森めぐりツアー

| 日付 | コース | 集合場所・時間 | 内 容 |
|---------------|---------|-----------------------|---|
| 5 / 12 (土) | 八ヶ崎・金ヶ作 | パークセンター前 集合(13:00) | 「八ヶ崎の森」「ホダシの森」 「囲いやまの森」を廻る (15時ごろ現地解散) |
| 5 / 12 (土) | 千駄堀 | パークセンター前 集合(13:00) | 長屋門、寺社、里やま風景を散策、 しんやまの森・芋の作の森を廻る (15時ごろ八柱駅又は公園南口解散) |
| 5 / 13 (日) | 常盤平・五香 | 常盤平駅改札口 集合(10:00) | 楽しい体験がいっぱい三吉の森・ 立切の森を廻る (12時半ごろ現地解散) |
| 5 / 15 (火) | 幸谷 | 新松戸駅改札口前 集合(10:00) | 幸谷観音、関さんの森、溜ノ上の森で 新緑の中、自然散策 (12時半ごろ現地解散) |
| 5 / 16 (水) | 紙敷・河原塚 | 東松戸駅改札口前 集合(9:30) | 茅葺き屋根の斎藤邸から河原塚古墳 の森・紙敷石みやの森を廻る (12時半ごろ現地解散) |
| 5 / 20 (日) | 高塚・秋山 | 東松戸駅改札口前 集合(9:30) | 高塚新田の小浜屋敷の森と 秋山の森の新緑を訪ねる (12時半ごろ現地解散) |

4) 森の文化祭

- ・ 出品数：約 100 点（実行委員会・各会の紹介パネル、絵画、写真、竹細工、木工作品、バードカービング、木のクラフト、俳句、水彩スケッチ、折り紙、関係書籍、各会の活動を映像表示など）
- ・ 出品者：約 30 名
- ・ 観覧者：379 名（名簿に記帳された方々）

5. 広報関係

1) 広報・取材依頼

- ・ 広報まつど
- ・ 松戸よみうり
- ・ 地域新聞
- ・ UKIUKI
- ・ 月刊新松戸
- ・ NHK 千葉（東葛局）など

2) 取材・報道

- ・ こあらテレビ
- ・ 読売新聞
- ・ 朝日新聞
- ・ 毎日新聞
- ・ 東京新聞 など

6. 参加者

- 1) オープニング式典 78 名
- 2) 森めぐりツアー 503 名
- 3) 森の訪問者
直接森に来た訪問者 1,005 名
ツアー参加者も含め、各森の訪問者延べ人数 2,056 名
- 4) 森の文化祭観覧者 379 名

7. 主な購入品・備品等

- 1) のぼり旗 30 本（各森、文化祭に 2 本）
- 2) 横断膜 15 枚（各森、文化祭に 1 枚）
- 3) 携帯電話 1 台（事務局）

8. 印刷物

- 1) チラシ A 2,000 枚（A4 カラー／白黒）
- 2) チラシ B 6,150 部（A3 二つ折り 仕上げ A4 サイズ 4 頁カラー）
- 3) チラシ C 1,500 枚（A4 色紙に白黒）
- 4) ポスター 350 枚（A2 カラー）

- 200 枚 (A3 カラー)
- 5)パンフレット 2,000 部 (A3 二つ折り 仕上げ A4 サイズ 8 頁カラー)
- 6)アンケート調査票
- 7)式典会場横断幕
- 8)式次第 100 枚
- 9)受付名簿など
- 10)式典記録 DVD 30 枚 (参加団体ほか)

9. 募金箱

各森に竹筒の募金箱を設置して「松戸のみどりの保全活動に使用されます」の表示をして善意の募金を行った。

集まった21,818円は、(財)松戸みどりと花の基金に松戸のみどりの保全活動の一部として使用頂きたく寄附した。

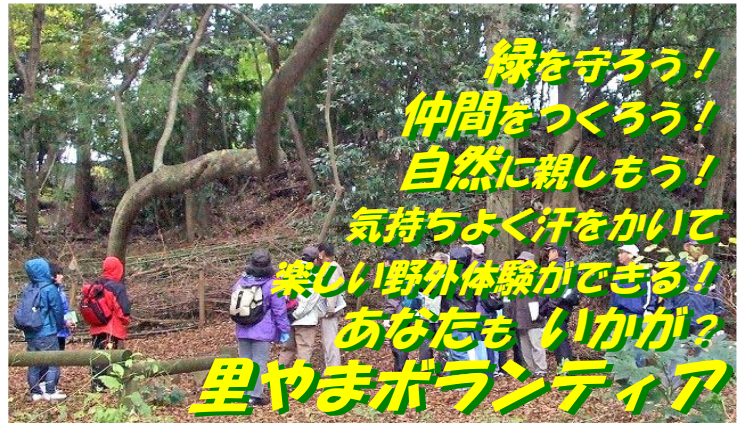
10. その他

アンケートの作成及び集計・分析は千葉大生(曾根さん、Wanさん)の協力を頂きました。

最後に関係各位のご協力のもと事故もなく、沢山の市民、近隣市からも参加を頂き当初の目的を達成出来た事に感謝申し上げます。

以上

～身近な緑を知る・守る5つの体験～ 里やまボランティア入門講座



| | 日 時 | 内 容 | 講 師 ・ 協 力 | 会 場 |
|---|-----------|--|--------------------------------------|---------------------------------|
| ① | 10月28日(木) | 里やまって何だろう? ～自然に対するまなざし～ 松戸の緑の現状と将来 | 森林インストラクター 渋谷 孝子 氏 みどりと花の課 | まつど市民活動 サポートセンター |
| ② | 11月4日(木) | 都市の緑の役割 ～松戸の樹林地は今～ みんなで考える森づくり | 千葉大学大学院園芸学研究科 准教授 柳井 重人 氏 一起の会 | 21世紀の森と広場 アウトドアセンター 八ヶ崎の森 |
| ③ | 11月11日(木) | 都市樹林が抱える課題 グループワーク | 関さんの森を育む会 里やまプロジェクト | 関さんの森 幸谷ふれあいホール |
| ④ | 11月18日(木) | 森の手入れ体験とお楽しみ | 三樹の会 金ヶ作の森を育む会 | 三吉の森 金ヶ作の森 |
| ⑤ | 11月25日(木) | まとめと交流 | 松戸ふるさと森の会 松戸里やま応援団グループ | 21世紀の森と広場 パークセンター |

定 員：20名（連続5回受講される方、ならびに市内在住・在勤・在学者を優先します）

費 用：3,000円（保険料、教材費を含む）

共 催：松戸市みどりと花の課 松戸里やま応援団 松戸まちづくり交流室テント小屋

申し込み：10月8日(金)必着。往復ハガキに住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話（FAX）、
応募した理由を記入し、〒271-8588 松戸市役所 みどりと花の課(Tel 366-7378)まで

* 応募者多数の場合は抽選となります。受講の決定は返信はがきでお知らせします。

広報まつど10月1日号で募集の予定です。尚、会場は都合により変更する場合があります。

～身近な緑を知る・守る5つの体験～ 里やまボランティア入門講座



| | 日 時 | 内 容 | 講 師 ・ 協 力 | 会 場 |
|---|----------------------------|--------------------------------|------------------------------|----------------------|
| ① | 10月28日(金) (9:45~15:00) | 都市の緑の役割 ～松戸の樹林地は今～ | 千葉大学大学院園芸学研究科 准教授 柳井 重人 氏 | まつど市民活動 サポートセンター |
| ② | 11月4日(金) (10:00~15:00) | 里やまって何だろう? ～皆で考えよう! 松戸の里やま～ | 森林インストラクター 渋谷 孝子 氏 | 21世紀の森と広場 パークセンター |
| ③ | 11月10日(木) (10:00~15:00) | 都市樹林が抱える課題 グループワーク | 関さんの森を育む会 里やまプロジェクト | 関さんの森 幸谷ふれあいホール |
| ④ | 11月17日(木) (10:00~15:00) | 森の手入れ体験とお楽しみ | 三樹の会 | 三吉の森 |
| ⑤ | 11月24日(木) (10:00~15:00) | まとめと交流 グループワーク | 松戸ふるさと森の会 松戸里やま応援団 | 21世紀の森と広場 パークセンター |

定 員：20名（連続5回受講される方、ならびに市内在住・在勤・在学者を優先します）

費 用：3,000円（保険料、教材費を含む）

共 催：松戸市みどりと花の課 松戸里やま応援団 松戸まちづくり交流室 テント小屋

申し込み：10月11日(火)必着。往復ハガキに住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話（Fax）、
応募した理由を記入し、〒271-8588 松戸市役所 みどりと花の課(Tel 366-7378)まで

* 応募者多数の場合は抽選となります。受講の決定は返信ハガキでお知らせします。

松戸花壇づくりネットワーク
種からの花苗づくり(H23～)



視察研修会 (H23.10.25水戸市植物公園)



神栖市花と緑の会交流会 (H23.11.28)



花壇見学会 (H24.4.17)



緑と花のフェスティバル (H24.4.29)



松戸市緑推進委員会
第6期委員会の答申と活動報告

・発行 松戸市緑推進委員会

・問い合わせ先

松戸市 都市整備本部 都市緑花担当部 みどりと花の課

TEL:047-366-7378 FAX:047-368-9595

メール: mcmidori@city.matsudo.chiba.jp